

事業計画書

事業名	つながるつながり、つながりつながる
実施場所	沼津市内
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年4月1日 ～ 2020年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

わたくし自身、広汎性発達障害（アスペルガー症候群）です。30代後半で診断を受けました。大人の発達障害の存在の認知は高まりつつありますが、当事者が悩みや困りごと、心のうちを話したり相談することで、自分自身と、周囲の人々と社会とのつながりを築く、きっかけの場所を設定していきます。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

発達障害者支援法が施行されたのは、今からたった約14年程前です。わたくし自身も含め、子ども時代は、発達障害の言葉もなく存在すら知らなかったために、家庭・学校・職場・地域社会などで様々な苦しさや困難さを抱え、本人も家族も辛く苦しい思いをしてきた方がたくさんいるはずです。

わたくしも周囲の人と同じようにできないことや自身の特性、もやもやし続けた理由は分からないまま生きづらさなどを感じ生活をしてきました。診断を受けたのは30代後半で、昨年度、手帳を取得しました。

現在、子どもの発達障害の認識は進んでいますが、大人の発達障害の認識は少し遅れをとっているように感じます。しかし、大人になってから障害の存在を知り、気づき診断を受ける人も少なくありません。障害や言葉を知らない、知らなかった、ただそれだけで、多数を占める健常者（定型）の方々とは比べ、自分は異常なのではないかと、自己否定や閉鎖的になることは否めません。

↓↓↓

① 集う

知らないだけで、同じような障害や悩みを抱える人は、実際には近くに居ます。

そのような人々・仲間と会うこと。それは、当事者にとっては大きな一歩と考えます。その場に自らが赴いて、人と会い話をする。それだけで、これまで抱いていた不安や怯えなどは、「自分だけではないんだ」という安心感に、つながります。

② 気づく

集うことで、自分だけではなかったのだと気づき、自分自身に怯えたり不安になること、否定的になることはないのではと、気づく。また、健常者（定型）の方々とは、障害に対する知識や理解、対応に気づいていく。

③ 肯定する

これまで否定し続けてきた自分を、自分の特性（障害）は異常でもおかしいものでもなく、変わっていないことに気づき、そのままの自分に自信、そのままの自分を肯定できるようになり、避けがちであった人々や社会も肯定できるようになっていく。

④ つながる

自分を肯定すること、つまり、自分自身とつながり、そして周囲の人々と社会とつながっていく。障害者も健常者も隔てなくつながり、そして、そのつながりは、やさしい社会、日々へもつながってゆく。

⑤ 笑顔

多くの人やものもつながってゆくことで、差別がない社会になり、自然と安らぎや穏やかさにつつまれる。そんな笑顔があふれる社会へ。共生、自分自身とともに、そしてまわりの人々とともに生きる、共生の社会づくりをめざしていく。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
4月～6月	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>研修 目的：同じような活動を行っている団体に参加し、取りくみ方や会の進行などを学び、基礎知識を習得する。 予定地候補：関西方面 参加者：申請者本人</p>
8月以降	<p>当事者のつどい 場所：沼津市内 対象：当事者のみ 募集：チラシを作成し、関係個所に設置を依頼</p>
秋以降	<p>初回の様子をうかがったうえで、まずは季節ごとの開催をめざします。 スタート当初は、当事者のみを対象にしますが、つながりをキーワードにいずれはすべての方が集うことができる空間、集いがいと思っております。 今後、アロマセラピーやフラワーエッセンスの導入も予定しており、その講師を招いての簡単な講座や、障害の専門家によるお話、また、外へのつながりからも、宿泊業の方からの視線でのお話（全ての要求は難しいことは実情ですが、どのような対応や配慮をすることが穏やかな宿泊になるのかなど）など、様々な分野から、“つながることへ”につながる内容の催しを開催できればとも、考えています。</p>

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <p>(目的欄にも記入しましたが) 大人の発達障害当事者は、これまでの人生において、自分の特性で苦しかったり寂しく辛い思いをしてきた方が、多くいるはずで。障害をオープンにするのもクローズのままでも本人次第です。ただ、孤独や孤立、生きづらさを抱えているのならば、集う場所を設けることで少しずつ、これまでの思いは和らいでいくことは想像できます。落ちつくことができる場所や人が見つかることは安心感にもつながり、これまで閉鎖的であったならば、同じような悩みを抱える人々との関りで、周囲の人々や社会とのつながりへの気づきの一歩となるのが、期待できます。</p>		
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p>	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>指標の 検証方法</p> <p>30人</p>

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>発達障害当事者でないと分かりづらい悩み・不安・困りごとなどを話したり、相談できる場として機能。人々や社会とのつながりにも通じ、まちの活性化や誰もが住みやすいまちづくりにも、つながります。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津市内には、大人の発達障害当事者が交流できる場所がありません。当事者の集いが小さな場所で小規模であっても、当事者たちには大きな場所となり、社会とのつながりも増えていくことでコミュニケーションの増加も予想され、また、そうなることで周囲への障害の知識や対応方も広まり、相乗効果も予想できます。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>申請者本人が広汎性発達障害です。診断を受けるまで障害の存在さえも知らず様々な思いをしてきました。そして、家族も同じような思いをしてきたと思っています。同じような思いをしていらっしゃる方々に、あなただけではいよと、少しでも気づいてもらうきっかけになること、同時にわたくし自身も障害について学びながら、気づきながら、より新しい集いやつながりに広がっていくことも、予想できます。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>自分・人々・社会とのつながりが広がることで、あたたかな、やさしいまちになっていくこと。スタート時は集いの対象を当事者に限定する予定ですが、外(人々や社会など)への恐怖心などが薄れていくなど、状況をみながら対象を全ての方にするすることで、障害の有無関係なく協力、共生もうまれ、新たな雇用や交流も生み出し、可能性が広がっていくことが期待できます。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>見学や研修を取り入れ、基礎力をつけること。そして、多くの当事者に共通する特性として、疲れやすさがあります。わたくし自身も含め、当事者の方々にもゆとりあるスケジュールを設定しました。</p>

活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>周辺地域にモデルとなる団体が存在しておらず、手さぐりとなることは予想できません。わたくし自身の特性のひとつに、疲れやすさや感覚過敏がありますので、「少しずつ、一歩ずつ」を心がけていくこと。そのスタイル（健常者（定型）の方々とは少し異なる特性をも含めて活動を進めていくこと）も、この活動における、意義なのではないかと思っています。</p>
----------	---

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

アロマセラピーやフラワーエッセンスなどの自然療法をツールとして取り入れ、対象や内容も広げ、より多くの方々の癒しの場として機能していくことができたらいいなと、と思っています。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。